

令和5年8月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年8月31日(木) 午後3時00分

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、關野洋香委員、
圓山留美委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、萩原学校教育課長、布尾文化振興課長、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、清水図書館長、小谷博物館長、大谷内主査

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 令和5年度9月補正予算(案)について(学校教育課ほか)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和5年7月29日(土)から8月31日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

(3) 協議内容

案件第1号は萩原学校教育課長が説明し可決された。

(4) その他

令和5年度全国学力・学習状況調査 本市の結果について、令和5年度卒業証書授与式及び令和6年度入学式等(案)について、濱井参事が説明した。

[質疑応答]

・令和5年度全国学力・学習状況調査 本市の結果について

事務局 子ども達はICTを活用している印象があったが、ICT 機器の使用回数が全国平均を下回った結果を現場と共有し、今後に生かしたい。授業では、毎時間、電子黒板を活用していたので、子ども達がどこまでICT機器と捉えていたかも確認したい。

事務局 質問が子どもの考え方とかみ合っていなかった可能性がある。

委員 学校訪問では、ICT機器がたくさん活用されていた。校長先生の話でもそのように聞いている。ICT機器の使用回数が全国・県平均を下回っているとは思っていなかった。

- 事務局 子ども達が何をICT機器と考えているか、実態を把握しておいてほしい。
- 委員 中学校の英語は「話す」問題もあったのか。
- 事務局 昨年度から導入された。動画を見ながら、イヤホンをあて話す問題があった。
- 委員 全国的に、「話す」ことが苦手とされていると報道にあった。氷見市は ICT 機器の導入が進んでいると思っていたので、それを活用して、もう少し良い結果が出ると思ったが、全国平均と変わらなかった。ALTが参加し、活発に授業が行われていたが、まだ自分の言葉として話す力がついていないのか。報道で、タブレットにAIを組み込み、タブレットを通じて1対1の会話ができるシステムを目にしたが、こういったものを活用すれば、英語を話す能力が付き、もっと話すことに自信を持てるのではないか。
- 事務局 教師やALTとのやりとり等、コミュニケーションに関しては全国平均より高かった。
- 委員 ICT機器の活用は今後も考えてほしい。
- 委員 機会均等と水準の維持向上という観点で、全国学力・学習状況調査は行われている。しかしながら、公表される順位を上げるために血眼になっている自治体もあると聞く。確かに、教育水準を上げるという点では良いのかもしれないが、あまりこだわりすぎると、本来の教育の目的から外れ、先生方の負担が増える懸念がある。文科省は今後この調査を続けていくのか、わかれば教えてほしい。また、学力向上策のひとつにある、家庭での学習時間の確保は非常に難しい。家庭と連携し家庭学習の充実を図るために、具体的にどのような働きかけをするのか。
- 事務局 この調査は、子ども達に求められている資質や能力を確認するひとつの手段、データと捉えている。設問も授業の改善を想定して作られている。教師自身もそのことを理解し、一人一人の子どもの具体を見て授業に反映していく、ひとつの指標となる。家庭との連携については、教育計画等の中に掲げている学校もある。
- 委員 家庭学習については、学齢により決められた時間内に出来る内容が異なるため、見直しが必要かもしれない。中学校3年生の保護者は、夏休み期間中に勉強時間を確保したかったそうだが、科学作品の制作に思った以上の時間を取られたと聞いた。生徒には科学作品についてどのような指示がでているのか。
- 事務局 様々なことに取り組むことにより、個々の生徒が輝くことがあると思う。夏休み中の課題については各学校に任せている。
- 委員 科学作品を作りたいと思った生徒は、この先、高校や大学へと進んでいく過程で、その経験が生きてくる。将来、理系に進学したいと思っている生徒は、忙しくても取り組む意思があると思う。しかし、作品の提出を必須としてしまうと、苦手な生徒もいるであろうし、保護者の不満も出てくる可能性がある。そこは考慮する必要がある。
- 委員 生徒たちは、提出しなければならぬものだと認識していることが多い。興味のある生徒はどんどん取り組んでもらい、興味のない生徒は他の課題に取り組むなどの指導が必要かもしれない。

- 委員 理科の先生が、科学作品を2学期の評価に含めている場合がある。そのため、夏休みの宿題としている学校もある。評価に含めるから、提出したい生徒は提出してくださいとすればよいと思う。
- 事務局 学力調査に関しては、OECD が進めた調査であるため、経済界を担う人の資質を向上させる目的がある。また、国際社会の中で、日本の地位向上を目指して始まったものでもある。当初は、この調査で、地域間の学力の格差が明確になったが、現在は全国的に並んできている。ポイントに左右される時代ではなくなってきたと考えているが、国際的には日本のAIやICTの分野の評価が低いことから、国としてこれらの分野に取り組んでもらうための指標になると考える。当初とは方向性が異なっており、子ども達にはそれぞれ好きな分野を伸ばしてほしいと思う。家庭環境等、様々な事情はあるが、将来独り立ちできる子どもを育てることが大切だと考える。そのための、基礎・基本をつけることが義務教育では重要だ。
- 委員 先ほど、委員から、点数に左右されることはないとの意見があったが、私も同様の意見だ。児童への質問の中で見えてくる課題や傾向を踏まえて、これからどう取り組んでいくかが大切だ。
- 事務局 報告させていただいた結果については、9月4日に市長へ、9月14日に議会へ報告させていただく。14日には報道発表も行う予定としている。

[質疑応答]

・令和5年度卒業証書授与式及び令和6年度入学式等について

- 委員 この日程でよいと思う。始業式までの準備期間の日数も足りると思うし、子ども達も早く学校に慣れるという点で問題ない。
- 事務局 教育効果としては高いと考える。

(5)9月の行事予定を各所属長等が説明した。

[質疑応答]

・中学校運動会について

- 委員 市内の学校は8月28日が始業式だが、砺波市は9月1日が始業式と聞いている。連日猛暑が続いており、児童生徒の体調が心配される。保護者や市民の方から、懸念の声は届いているか。また、9月2日の中学校運動会まで、連日猛暑との予報もでている。昨日、熱中症で生徒が救急搬送されたと聞いたが、しっかり対策はできているのか。
- 事務局 学校管理規則で、夏休みは8月26日までとなっている。今年は27日が日曜日であったため、28日が始業式となった。この日程は、平成30年に改正されており、当時、英語の授業が入ることになり、教職員の勤務時間短縮のために、2学期の始業式を早めた。改正にあたっては、全戸通知も行っており、この日程について苦情等

は受けていない。しかしながら、今年のような猛暑が続くようであれば、変更も検討したいと思っている。中学校運動会については、各学校は熱さ指数を基に対応することが重要である。ただ、数字はあくまでも目安であるので、子ども達の様子を見ながら対応することが重要である。

国からも通達があり、熱を持ったままの状態を生徒を帰宅させないために、活動後のクールダウンの時間を設けている。運動会自体は種目数を減らしており、全体的に時間が短くなっている。応援合戦から始めるとか、100メートル走を別日に行うといった案もでている。各学校が工夫をこらし、対策を講じている。

委員 来年も猛暑であれば、何らかの対応が必要だ。

事務局 運動会の日程をどうするか、校長会で相談したい。

(6) 10月の定例教育委員会議の開催を10月26日(木)午後3時に決定した。

(7) 閉 会 午後4時20分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員